

令和7年7月18日

1 学期 終業式 式辞

みなさんおはようございます。令和7年度 第1学期終業式、少し時間をいただきます。

4月からこの間、本校の教育活動、時間の許す限り拝見させていただきました。みなさんの自己実現に向かう挑戦と成長、そしてすべての価値判断をみなさんの成長に据え粘り強く寄り添う先生方、関係保護者のみなさま方からの叱咤激励。課題はゼロではありませんが総じて実り多い一学期でした。

本校今飛躍の時です。ただし、飛躍する学校、組織、集団も、そこに所属する私も含めたたった一人の社会通念を欠く不適切な言動、不祥事が集団を停滞・後退させます。そのようなことのないよう常に正しく生きること肝に銘じましょう

それではここで、本校の飛躍の証、たくさんありますが一つ披露させていただきます。本年度、本校は文部科学省が主幹する学校安全総合支援事業（災害ボランティア活動）に応募し推進校として指定を受けました。この取り組みが本校の教育方針と合致したものであるからです。

本校の目指す学校像、育てる生徒像は well・being な環境づくりを骨子とした、地域や国際社会への貢献、自己実現や豊かな社会創造、可能性を信じたチャレンジ、他社への思いやり等です。本校の HP に学校経営計画を掲載しています。後ほどご覧ください。

それに沿った、災害ボランティア活動への参加をタイトなスケジュールでみなさんに募集したところ多数の応募者がありました。生徒のみなさんへの教育方針の浸透が伺えうれしい限りです。活動は7/24～7/26の間、宮城県で行われます。

みなさん、強い学校、組織、集団の要件として、向かう方向が社会の変化に対応していること、又関係者に方向性が浸透し、そのニーズに対応していることであると私は思います。災害ボランティア活動に多数応募があったこと本校の飛躍の証の一つです。今後もみなさんが急速に変化する社会に対応できる力を高めるため、教科指導、特別活動、部活動はもとより様々な学ぶ機会を提供させていただきます。みなさんの可能性は無限大です。可能性を信じて粘り強くチャレンジしてください。

次に、未来を豊かに生き抜くため、混沌とする社会の状況を把握しておくこと、又、それに対して見通しを立てておくことが大切です。本日はみなさんに2点問ます。①1975に始まり今年で50年の節目を迎えるG7サミットがカナダで開催されましたが、首脳宣言が見送られています。2014年以降で初めてという異例の事態です。②つめは我が国の課題です。2024年出生数が68万人あまり、過去最少です。合計特殊出生率1・15過去最低です。高齢化率29・3%、過去最高です。これらは少子高齢化社会の進行を示す硬い数字です。

さて、これらの状況が今後のみなさんの生活にどのような影響を及ぼすでしょう、答えはひとつではありません。個別に又協働で探求し見通しを立ててみてください。2学期に入り、校内巡視の際、お尋ねします。

それでは終わりになりますが明日からの夏休み、個々にめざすものはこととなりますが、グローバルに社会情勢を勘案し、失敗を恐れず果敢に挑戦し、有意義に過ごしてください。同時に、みなさんの存在自体が周囲を幸せにしています。くれぐれも事故・怪我のないよう健康・安全をこころがけてください。

以上、1 学期終業式の式辞とします。

大阪府立貝塚南高等学校
校 長 藤 田 繁 也